

施策の体系

基本理念、推進テーマを実現するために、次の3つの基本目標を掲げ、各種施策、事業を推進します。

基本目標① 地域まるごと支え合いの仕組みを創ろう

－自助・共助による住民主体のまちづくり－

誰もが住み慣れた地域や家庭で、いつまでも安心して暮らし続けることができる地域社会を実現するため、住民主体の小地域福祉活動に対する支援や住民と地区社協や福祉関係団体等の多様な組織等との連携・協働を進めるなど、地域まるごと支え合いの仕組みの構築を目指します。

基本施策

- 1-1 地域福祉の啓発と住民主体の地域福祉活動の推進
- 1-2 地域における連携と協働の推進
- 1-3 地域ぐるみの安全・安心活動（防災、防犯、交通安全）の推進
- 1-4 生きがいと社会参加の創出

基本目標② 地域福祉の取組みを支援する施策を充実させよう

－地域福祉活動を支えるひとと活動の拠点づくり－

地域福祉活動を推進するため、地域福祉に対する理解の浸透や地域福祉活動を担う人材の育成、子どもや高齢者や障害のある人を含めたすべての住民が関心を持ってボランティア活動や地域福祉活動に参加する地域社会づくりを進めるなど、地域福祉の取組みを支援する施策の充実を目指します。

基本施策

- 2-1 福祉のこころの醸成
- 2-2 地域福祉活動の担い手の養成と活動支援
- 2-3 セルフヘルプ、当事者力の向上支援
- 2-4 地域福祉活動を支える拠点機能の整備



基本目標③ 暮らしを支える多様なサービスを充実させよう

－わかりやすい情報の提供と地域に根ざした支援体制づくり－

支援が必要になっても、地域で安心して暮らし続けるには、公的な福祉サービスの充実とこうした福祉サービスに関する適切な情報提供やきめ細かな相談体制の充実を図るなど、誰もが必要ときに、暮らしを支える公助による専門的なサービスを円滑かつ適切に受けられるよう、その充実を目指します。

基本施策

- 3-1 福祉サービスに関する適切な情報提供
- 3-2 きめ細かな相談支援体制の確立
- 3-3 公的な福祉サービスの充実
- 3-4 セーフティネットの整備
- 3-5 保健、医療、福祉と地域との連携の強化
- 3-6 高齢者や障害のある人の自立を支える都市環境等の整備や移動手段の充実

